

「なにわ筋線 浪速区敷津東地区工事説明会」における主な質問と回答

説明会当日および問合せフォームからいただきました主な質問と回答の要旨についてお知らせします。

No.	質問事項	回答
工事工程		
1	工事はいつから着手するのか。	2025 年 12 月から工事着手いたします。
2	工事工程について提示していただきたい。	今回工事箇所の全体工程については、別添資料をご確認ください。（ページ下部に記載） また、直近の工事予定については、現地の工事掲示板にて適宜ご案内いたします。
工事内容の案内		
3	工事案内掲示板はどこに設置するのか。	工事箇所周辺の見やすいところに設置いたしますが、工事の進捗により位置が変更になる場合がございます。当面は阪神高速道路高架下（㈱クボタ本社の向かい側）のフェンス沿いに設置いたします。
4	耳の不自由な人にも配慮した案内をお願いしたい。	耳の不自由な方に配慮した視覚的な案内を行うとともに、お身体の不自由な方全般に配慮した工事案内に努めてまいります。
工事の影響（騒音・振動・粉塵・地下水）		
5	騒音や粉塵が発生した場合にどのように対応してもらえるのか。	騒音・振動・粉塵が発生しうる工事については、それらを抑制する重機や工法を使用します。騒音については防音シートで作業現場を囲って作業する等の対応を行い、法令で定められた基準値を遵守して工事実施いたします。粉塵については必要に応じて散水を行う等、発生抑制に努めます。 なお、工事に伴う環境面でお気づきの点がありましたら、ご連絡いただくようお願いします。

6	住民が工事の騒音等に対して訴訟を起こした場合はどのように対応するのか。	工事に関連してお困りごとがあれば、ご意見をいただきたいと考えておりますが、万が一そのような場合は、訴状内容を確認し対応をさせていただくことになります。
7	掘削に伴う地下水への影響はあるのか。	工事箇所周辺に観測井戸を設置し地下水位を確認しながら、周囲へ影響を及ぼさないように工事を進めてまいります。
8	埋設インフラ移設の影響で、水道・ガス・電気等の切り替えに伴う一時的な停止はあるのか。	各インフラの管理者と調整させていただき、可能な限り一時的な停止が生じないよう工事を計画してまいります。やむを得ず一時的な停止が生じる場合は、前もって影響する方々にお知らせいたします。
家屋調査		
9	家屋調査範囲の範囲設定はどうやって決めているのか。	地面を掘削する影響について、一般的に掘削底部から 45 度の線を描いて内側に入る範囲を影響範囲と想定しており、家屋調査範囲を設定しております。
10	家屋調査範囲外となっている家屋における工事影響が懸念される。	工事の影響がないように努めますが、工事着手後に著しい振動がある等の状況であれば、状況を確認してしかるべき対応しますので、ご連絡願います。
交通規制		
11	工事範囲内における交差点は全て渡ることができるのか。	今回の工事において、渡れなくなる交差点はございません。ただし、夜間の通行止めを行うことがあります。 なお、今回の区間より南側で実施する工事における交通規制の詳細は、改めて説明いたします。
12	夜間通行止めの工事は何日くらいかかるのか。時間帯は。	夜間通行止めの工事はできるだけ少なくする予定です。全面通行止めとなる工事は、数か月に 1 回程度を予定しています。一部通行ができなくなる工事を含めて、実施する場合は事前に現地掲示板等で案内させていただきます。作業時間は最大で 20 時から翌 6 時までとなります。
13	交通規制を行うことで消防車の消火活動に影響が出ないか。	消防車の消火活動の妨げにならないように、消防署と事前調整を行ったうえで工事実施いたします。
14	阪神高速道路の通行止めはあるのか。	阪神高速道路の通行止めは予定しておりません。

東西横断		
15	なにわ筋線により東西方向に横断できなくなる交差点はあるのか。	今回の工事においては、東西方向に渡れなくなることはありませんが、パークス通りと阪神高速道路の交差箇所における交差点については、なにわ筋線の鉄道構造物を構築する段階になりますと東西に横断できなくなります。
16	東西に横断できなくなることの代替措置を整備してほしい。また、バリアフリーに対応した施設にしていきたい。	歩行者が東西に渡れるエレベーターを備えた歩道橋の設置に向け、関係者との協議や設計等を進めております。
その他		
17	近年は物価が上昇しているが事業費は増えるのか。	物価の上昇等のリスクはありますが、より経済的な施工方法を検討する等、定められた事業費の中で事業を推進しております。
18	工事着手が遅れているのではないのか。開業は予定通りになるのか。	2031 年開業を目指して工事を進めております。
19	今回工事箇所より南側の工事説明会はいつごろ実施するのか。	現在、工事着手に向けて関係各所と調整中ですので、着手時期が決まり次第改めてご案内させていただきます。
20	鉄道が地上に出る箇所において、一部シェルターを設置しない箇所があるのはなぜか。	シェルターは鉄道の騒音を一定の指針値以下に抑えるために設置を計画しています。シェルターがない箇所については、3.5m の高欄で指針値を満足するため設置する計画とはしておりません。

別添資料（予定工程）

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
今回工事箇所 (敷津東1交差点 ～阪神高速橋脚 交差箇所)	開削トンネル工事				シールド トンネル 工事※1	線路設備工事※2	開業 目標
						道路復旧工事	

※1：新難波駅～敷津東1交差点付近のシールドトンネル工事の発進基地として使用
※2：検査・試運転等を含む

注：上記工程は関係者協議等により変更となる可能性があります。
阪神高速受替え工事および別途区間工事(阪神高速橋脚交差箇所～国道25号)の
工程は着手時期が決まりましたら別途説明会を実施して説明いたします。